

平成 25 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業(広島県補助事業)  
「国際経営を理解する人材の育成と備後企業の取り組み」

第 15 回講義を 12 月 14 日土曜日に開講しました。最終講義に先立ち、福山大学経済学部長入谷純教授より本講義の意義について総括的にご挨拶をして頂きました。



福山大学経済学部長 入谷純教授

その後、レポート回収および受講者によるアンケート記入が行われました。続いて、土曜日の午前中というとりわけ貴重な時間に参加していただいた労をねぎらうという趣旨から、7回以上出席した社会人に対する受講証明書授与のセレモニーが行なわれました。



社会人への受講証明書授与

その後、福山大学尾田教授による海外研修のスケジュールに関する説明が行われました。続いて、タイ経済状況に関して、ジェトロバンコクの資料に沿った説明がありました。産業別所得格差、地域別所得と人口分布が最近の政治混乱と密接な関係にある点が指摘されました。特に政治的混乱の構図に関する説明が行われ、海外研修参加者は情勢に関するニュースに関心を持つようにという指示がありました。

毎回のように講義に登場した「アジア通貨危機」について、これがタイの通貨バーツが急激に減価したことであるという説明がありました。また失業率に関して 1%未満の現状、周辺国から 3K 業種へ労働者が流入している現状の説明がありました。



**タイの経済状況について**

講義のまとめとして、福山大学経済学部のホームページに掲載した講義内容に関する概略が報告されました。第 1 回から 14 回までの講師の先生と講義のテーマについて簡単に振り返る内容でした。最終講義の締めくくりは、本講義の目的である「グローバル人材」に関する内容でした。英語の語学力と教養の知識などを備えた、文部科学省が提唱するグローバル人材像から、第 12～14 回の講義で中沢孝夫教授が示された、語学力は二の次、まずは飛び込む勇気というグローバル人材の要件などを比較して、さまざまなビジネスシーンに対応したグローバル人材があり、受講生の今後の取り組みに期待したいということが述べられました。

最後に連携大学、推進委員へのお礼と遠隔配信機器操作を担当して頂いた古賀雅代さん、尾道市立大学へのビデオ配信に携わって頂いた青木さんへの感謝の拍手で終了しました。